

令和3年度

# 小規模多機能型居宅介護ゆとり庵鹿野

## 運営推進会議による評価（外部評価）

令和3年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

特定非営利活動法人 はりま総合福祉評価センター



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 日の出福祉会	代表者	理事長 中田 喜久	法人・ 事業所 の特徴	利用者へのアセスメントを行い、自宅での生活をベースにできる事・できない事を見極めそれを元にプランニングしている。また、家族の介護力も考えながらなるべく介護計画の担当者になっていただき、関わっていただく。 リハビリ職が福祉用具選定のアドバイスや、自宅での環境や動作の評価を行う事により、在宅生活が長くできる様にする取り組み。それに伴うサービスの柔軟な対応。 プランに沿った地域への外出を行っている。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 ゆとり庵鹿野	管理者	土田 喜裕		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	2人	0人	0人	0人	0人	2人	1人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			<ul style="list-style-type: none"> <li>・10名で自己評価に取り組まれたことが確認できました。</li> <li>・無回答の方もおられるので職員の方に伝わっていないこともあるのではないのでしょうか。</li> </ul>	事業所の取り組みが伝わっていないことも多い事が確認できたため、引き続き、事業所全体での情報共有と自己評価に対する取り組みを行っていく。
B. 事業所のしつらえ・環境			<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来立ての施設なので、清潔感があり家庭的な雰囲気の施設だと思います。</li> <li>・地域の方は、ここ（事業所）が何をしているかは分からない方も多いと思います。</li> </ul>	事業所の役割や機能を地域に向けて発信する取り組みを行い、地域の方への認識を深めていく。
C. 事業所と地域のかかわり			<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会長は毎年交替することもあり、地域との関りをしていく為には、地域の会合や地域に向く取り組みが必要ではないか。</li> <li>・春になれば事業所の裏手にある公園に桜が咲くので、リハビリや気分転換に利用されてはどうでしょうか。</li> <li>・事業所も自治会に加入しているので、何かお知らせがあれば事業所への情報提供と事業所からの情報があれば自治会へ情報提供していきます。</li> </ul>	自治会との繋がりが持てるよう情報提供を受け、集まり事があれば接触的に参加していく。 事業所裏の公園での散歩や外出支援を行っていく。

<p>D. 地域に向いて 本人の暮らしを 支える取組み</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「泊り」「通い」「訪問」のあるサービスだということを知らなかった。</li> <li>・どんなことが、この事業所で出来るかを教えてほしい。</li> <li>・人数に対して、少しスペースが狭いように感じる。</li> </ul>	<p>現在行っている取組みを運営推進会議の中で報告する際、写真やイラストを付けるなど、報告の工夫を行っていく。</p>
<p>E. 運営推進会議を 活かした取組み</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・この会議でどんなことを話し合うのか分かりにくい。</li> <li>・利用者の情報の報告は数値化されているのでわかりやすいが、具体的な取組みが見えにくい。</li> </ul>	<p>現在行っている取組みを運営推進会議の中で報告する際、写真やイラストを付けるなど、報告の工夫を行っていく。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携のきっかけとして、災害時の連携を検討してみてはどうか。</li> <li>・事業所単体での災害対策は利用者の人数に対する職員の人員から見て避難誘導等、難しいのではないか。</li> <li>・令和3年度の報酬改定に伴う、BCP計画（事業継続計画）の策定は進められていますか。</li> </ul>	<p>事業所単体での災害対策も検討しながら、法人全体での地域との防災・災害対策の連携を検討していく。</p>